

さらに深まる豊島区との交流

東京都豊島区と常陸大宮市は、美和地域と豊島区との交流をもとに、今年5月に非常時の支援などを約束する「非常災害時相互応援協定」を締結しました。これを機会として、これまでにも関係者の相互訪問や、イベント参加など交流を重ねており、今回は、防災サミットに出席したり、区民を招いての植樹を行いました。

今後、人やモノの交流を盛んにすることで、観光事業の発展など、区と市それぞれの特色を活かして地域の活性化を目指していきます。

防災サミットにて

共同宣言を採択

11月1日には、豊島区と常陸大宮市の援助協定の体制をさらに実践的なものにするため、豊島公会堂において開催された「12のスクラム 防災サミット」に常陸大宮市長が出席、豊島区と各市町村長とともに「防災サミット会議」を行い、左のような「共同宣言」を採択しました。



豊島区の森誕生



区民とソメイヨシノを植樹

11月12日、豊島区の水島敏彦助役をはじめ区民28人が訪れ、緒川地域にある市有林「おがわふれあいの森」でソメイヨシノの植樹を行いました。おがわふれあいの森は、約120畝の広さがあります。

ソメイヨシノは、豊島区が発祥と言われているため、今回の植樹の樹木として選ばれたものです。

この日は、早朝から雨が降り、開催が危ぶまれましたが、植樹をするころにはさわやかな秋晴れとなりました。訪れた豊島区の皆様は青空のもと、50本のソメイヨシノの苗木を植え、豊島区の森をつくりました。また、同内で場所を移してミズバショウ約100株も植えられました。



今回植えられた苗木の成長とともに、常陸大宮市と豊島区との交流がますます深まることでしょう。

共同宣言

私たちは、平成14年に開催された防災サミットにおいて、大規模災害時の相互支援のあり方について協議し、それ以来、ネットワークづくりに取り組んでまいりました。

昨年発生した新潟県中越地震に際しては、全国の自治体が様々な支援活動を行い、特に、中越地方の自治体と防災協定を締結していた市区町村の迅速かつ確かな行動は、基礎的自治体間における防災協定の有効性を実証いたしました。

本日、豊島区並びに豊島区と防災協定を締結する6市5町は、これまで構築してきた相互支援の態勢をさらに実践的なものとするため、再び集いました。それぞれの自治体に住む全ての人々の、安全・安心な生活の実現を目指して、ここに宣言します。

- 一、平常時から防災に関する様々な情報を共有し、災害時における円滑な支援活動に役立てます。
- 一、防災サミットに参加した自治体が被災した場合は、相互に協力し、優先的かつ効率的な支援活動を実施します。
- 一、防災に関する協力関係を契機に、各分野における交流をさらに深め、お互いに発展することを目指します。

平成17年11月1日

- | | |
|-----------------|---------|
| 山形県遊佐町長 | 小野寺 喜一郎 |
| 埼玉県秩父市長 | 栗原 稔 |
| 福島県猪苗代町長 | 津金 要雄 |
| 埼玉県三芳町長 | 林 孝次 |
| 岩手県一関市長 | 浅井 東兵衛 |
| 岐阜県関市長 | 後藤 昭夫 |
| 群馬県神流町長 | 宮前 欽十郎 |
| 栃木県那須烏山市市長職務執行者 | 福田 弘平 |
| 新潟県魚沼市長 | 星野 芳昭 |
| 長野県箕輪町長 | 平澤 豊満 |
| 茨城県常陸大宮市長 | 矢数 浩浩 |
| 東京都豊島区長 | 高野 之夫 |